

循環器科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

| | |
|---------------------------|--|
| 研究課題名 | 急性冠症候群に対して血管内イメージング（光干渉断層撮影法・光血管内超音波法）を用いた冠動脈プラーク評価に関する臨床研究 |
| 研究機関名 | 愛知医科大学病院 |
| 研究機関の長 | 病院長 羽生田 正行 |
| 担当科等 | 循環器科 |
| 研究責任者 | （職名）教授 （氏名）天野 哲也 |
| 試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名 | 非該当 |
| 研究の意義・目的 | 本研究はHR-IVUS（高解像度を有する血管内超音波法）やIB-IVUS（後方散乱を利用した血管内超音波法）を用いることによってOCT（光干渉断層撮影法）と比較して解像度の劣るIVUS（血管内超音波法）においてもACS（急性冠症候群）患者での冠動脈プラークの形態学的特徴を同定しうるか検討することを目的としています。 |
| 対象となる患者さん | 2012年1月から2022年12月までにACSに対してPCI（急性冠症候群）を施行し、IVUS・OCTを用いて冠動脈を評価している患者 |
| 研究の方法 | <p>概要</p> <p>一般的にIVUSやOCTはカテーテル手術の際に血管内の情報を得るために用います。（血管の大きさやプラークの性状など）。OCTはIVUSと比較して手技が複雑で利便性が劣っていますが画像解像度は優れておりより多くの情報を得ることができるとされています。最近HR-IVUS（高解像度を有する血管内超音波法）やIB-IVUS（後方散乱を利用した血管内超音波法）といった画像解像度などが従来のもものと比較して優れているIVUSが使用可能となりました。それらを用いることによってOCTと比較してIVUSにおいてもACS（急性冠症候群）患者での血管内の情報（冠動脈プラーク破綻の同定）が有効に得られるか検討することを目的としています。</p> <p>研究の方法</p> <p>患者情報は当院のカルテ情報をもとに抽出します。それらを用いてカテーテル手術の際に行ったHR-IVUS・IB-IVUSとOCTの画像情報を得て解析を行います。解析はプラークの性状や形態学的特徴（ACSの原因）などを中心に行</p> |

| | |
|----------------------|---|
| | <p>い得られた情報は 2 人の臨床研究者が患者情報や冠動脈造影検査の情報を得ない条件で OCT・IVUS 画像を読影。IVUS・OCT はそれぞれ独立して読影を行いもし研究者間で読影結果の相なりがある場合は第 3 者から読影結果の一致を得る形でいます。最終的に OCT と比較した IVUS における検査の精度などを評価します。</p> <p>この研究に関して、研究計画や方法などの情報をお知りになりたい場合は、本研究の実施担当者にお申し出ください。他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。</p> |
| 研究期間 | 倫理審査承認日 ～ 2022 年 12 月 31 日 |
| 研究に用いる試料・情報 | <p>試料：なし</p> <p>情報：診療情報 アンギオ画像 OCT IVUS</p> |
| 外部への試料・情報の提供 | なし |
| 試料・情報の利用又は提供を希望しない場合 | 本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。 |
| その他 | |
| 問い合わせ先 | <p>愛知医科大学</p> <p>医学部循環器内科講座</p> <p>担当者： 医員助教 大橋 寛史</p> <p>〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又 1 番地 1</p> <p>電話 0561-62-3311 (内線 23490)</p> |